

④ 応用千鳥走行

(最大減点40点)

〈ねらい〉

随所にゲートがあり傾斜角が制限された狭小コースを安全かつ的確に通過できる、「バランス」運転技能向上をねらいに設けられた課題である。

〈走り方〉

- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認して発進する。発進後の立座、着座、中腰等の姿勢は自由とする。
- ② 課題の入口から出口までの間に設けられたパイロン、マーカーなどに接触しないように走行する。
- ③ 適切な傾斜角と内輪差を考慮しながら通過する。
- ④ 停止位置で停止し、採点カードに審判員のチェックを受け、指示に従う。

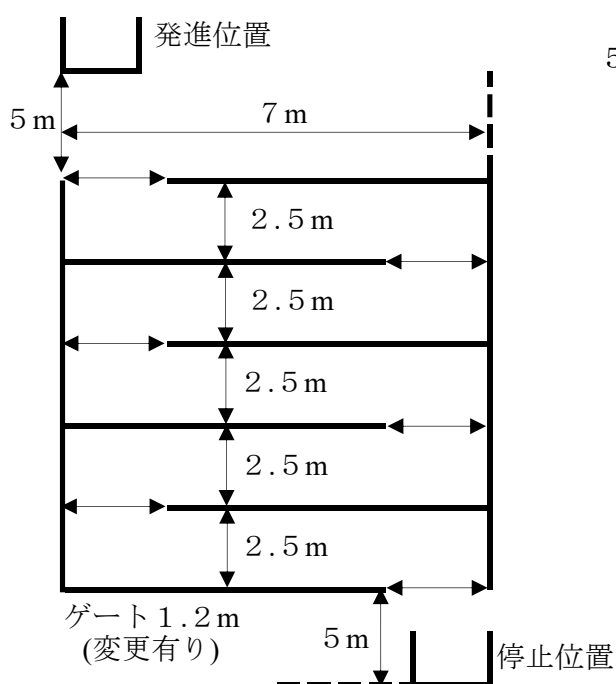
〈採点基準〉

項目	減点	項目	減点
コースアウト	40	両足ばなれ	10
転倒	40	足つき(1回につき)	10
指示違反	40	パイロン接触・倒し(1本につき)	10
安全不確認	20	片足ばなれ	5
足ささえ(1回につき)	20	右足ささえ	5
発進手間取り	10	エンスト(1回につき)	5
タイヤ以外の車体接地(1回につき)	10		

※ 足ささえは、車が停止した状態で足でささえた場合をいう。

※ 指示違反～足ささえから走行ライン修正のために車体をバックさせた時を含む。

〈原付・一般C〉



〈一般A・B〉

